



5月の連休も終わって、また日常が戻ってきました。生活やからだのリズムをもとに戻して、これからの季節を元気に過ごせるようにしていきたいですね！

さて、4月の終わりごろよりRSウイルス感染症で欠席する子が増えてきました。アデノウイルスの報告も受けています。どちらも症状の始めは、風邪と似ているため、わかりにくいようです。連休の疲れも出やすいこの時期、お子さまの体調には十分気をつけていただき、普段と様子が違うようでしたら、受診しましょう。今月はRSウイルス感染症、アデノウイルスについてお知らせします。参考にしてくださいね。



※5月11日の内科検診の結果は、後日、お知らせいたします。欠席の場合は、保健・健康カードを持って野間医院で受診してください。

RSウイルス感染症

気管支炎や肺炎などを起こすウイルス感染症で、冬場に多いが最近は季節に関係なく、流行する傾向があります。

終生免疫ではなく、2歳までにほぼ100%感染していると言われるため、毎年かかる子どもも多いようです。

潜伏期間…4～5日

主な症状

- ・鼻水、咳、発熱など風邪に似た症状
- ・湿った咳が出て、ゼーゼーと息をするようになる。
- ・肺炎や気管支炎を発症することもある。
- ・新生児、低出生体重児、生後6か月未満の乳児も重症化しやすいため、要注意。



登園のめやす…重篤な呼吸器症状が消え、全身状態が良くなる。



アデノウイルス

アデノウイルスとは、呼吸器、目、腸、泌尿器などに感染症を起こす原因のウイルスです。多くの型があるため、免疫がつきにくく、何回もかかることがあります。

呼吸器からの飛沫など様々な経路で感染します。以下はアデノウイルスによる病気です。

*咽頭結膜熱(プール熱)

熱は一日の間に39～40度の高熱と37度前後の微熱の間を4～5日ほど行き来します。扁桃腺の腫れ、のどの痛みに加え、結膜炎が伴うことも。主要な症状がなくなった後、2日間が経過するまで登園できません。登園届が必要です。



*呼吸器感染症

鼻炎や咽頭炎、扁桃炎などの気道炎を起こします。主に咳、結膜炎のほか、喉頭炎やクループ、気管支炎、肺炎などが起きる場合もあります。

*流行性角結膜炎

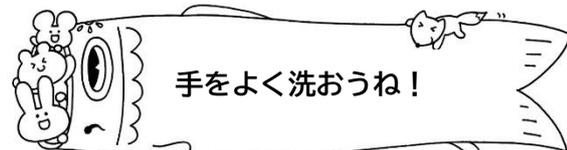
年齢を問わず起こる目の病気で、充血し、目やにも出ます。咽頭結膜熱のような高熱は出ません。喉の赤みも強くありません。しかし非常に強い伝染力があります。伝染のおそれがなくなるまで、登園できません。

*胃腸炎

乳幼児期に多いのが特徴です。下痢、嘔吐、吐き気、微熱、腹痛といったロタウイルスによる胃腸炎と似た症状が見られます。潜伏期間は3～10日。便の中にあるウイルスが口から入って、感染するほか、飛び散ったウイルスを吸い込んで感染する可能性があります。

☆感染症のお知らせについて

園内に感染症が入った時は、玄関横のホワイトボード、メール、ホームページなどでお知らせします。参考にしてください。



手をよく洗おうね！